

2013年(平成25年)3月29日

平成24年度YMFS調査研究プロジェクト 「大学における障害者スポーツの現状に関する調査」の調査結果について

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)では、平成24年度より、スポーツ文化・啓発事業の新たな取り組みとして独自の調査研究プロジェクトをスタートしました。このたび、その調査研究テーマの一つである「大学における障害者スポーツの現状に関する調査」の調査結果がまとまり、報告書を発行するとともに当財団のウェブサイトにて公開します。

■調査の背景

平成23年度に国が制定した「スポーツ基本法」及び「スポーツ基本計画」の中で、障害者スポーツに関する記述が格段に増えた。特に「スポーツ基本計画」では、「大学においては、競技性の高い障害者スポーツを含めたトップスポーツについて、これまでの指導・研究活動の実績等を活かしながら、高度な練習施設の活用、今後のさらなる競技力強化へ向けてのアスリート・スポーツ指導者等の人材養成や調査研究活動の充実に取り組むこと等が期待される。また、大学の教職員や学生が、アスリートや指導者等として、国際競技大会等に積極的に参加できるような配慮を行うことが期待される」と、健常者だけでなく、障害者も含めたトップスポーツにかかわる競技者の育成・強化、及び指導者や研究者等の人材養成の拠点として大学が果たす役割への期待が述べられている。こうした背景の中で、障害者アスリートの育成・強化のスポーツ環境が、大学においてどのような現状にあるのかを把握するために調査を実施した。

■調査の概要

- 調査対象 体育学、スポーツ科学、健康科学等の専門学部等を持つ153大学(167学部・学科・コース)
調査手法 アンケート調査
調査内容 障害者の在籍状況と支援について、運動施設について、入学試験における障害者スポーツ選手への対応について、アスリートの競技力向上について、障害者スポーツ選手の競技力向上における大学の役割・意向について
有効回答 50大学(51学部・学科・コース)
調査期間 平成24年11月10日～11月30日

□調査研究委員会の構成

- 担当理事 浅見俊雄(東京大学・日本体育大学 名誉教授)
委員長 海老原修(横浜国立大学 教育人間科学部 教授)
委員 藤田紀昭(同志社大学 スポーツ健康科学部 教授)、高橋義雄(筑波大学 体育系 准教授)、齋藤まゆみ(筑波大学 体育系 准教授)、中森邦男(公益財団法人日本障害者スポーツ協会 指導部 部長 兼・日本パラリンピック委員会 事務局 局長)、澁谷茂樹(公益財団法人笹川スポーツ財団 スポーツ政策研究所 主任研究員)

この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112 (担当・尾関)

〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500 番地 <http://www.ymfs.jp>

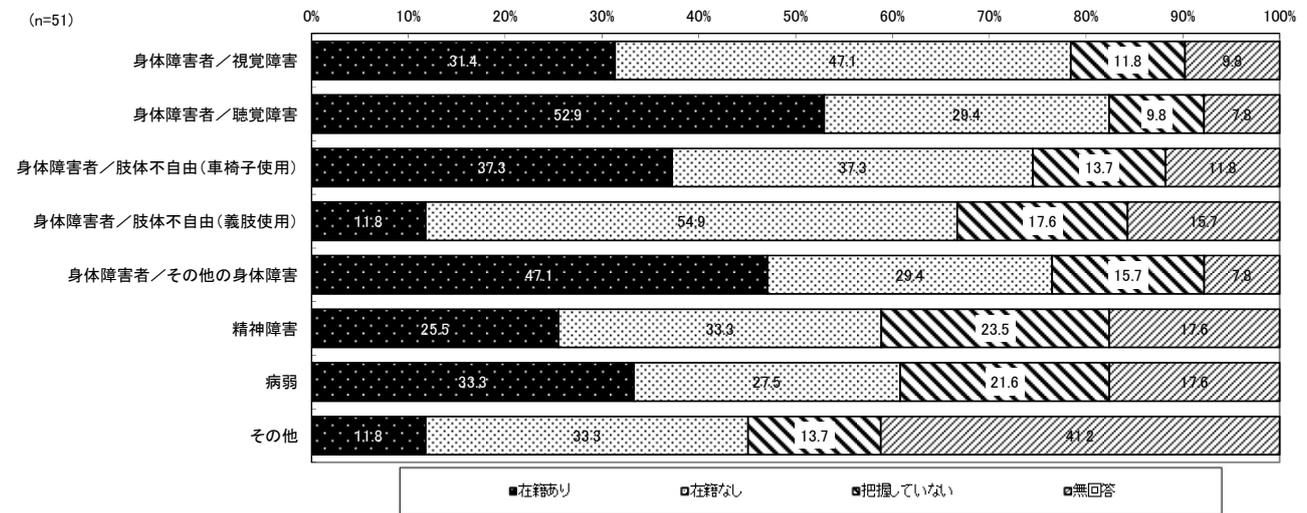
■調査の結果 ※抜粋

▼ 障害者の在籍状況について

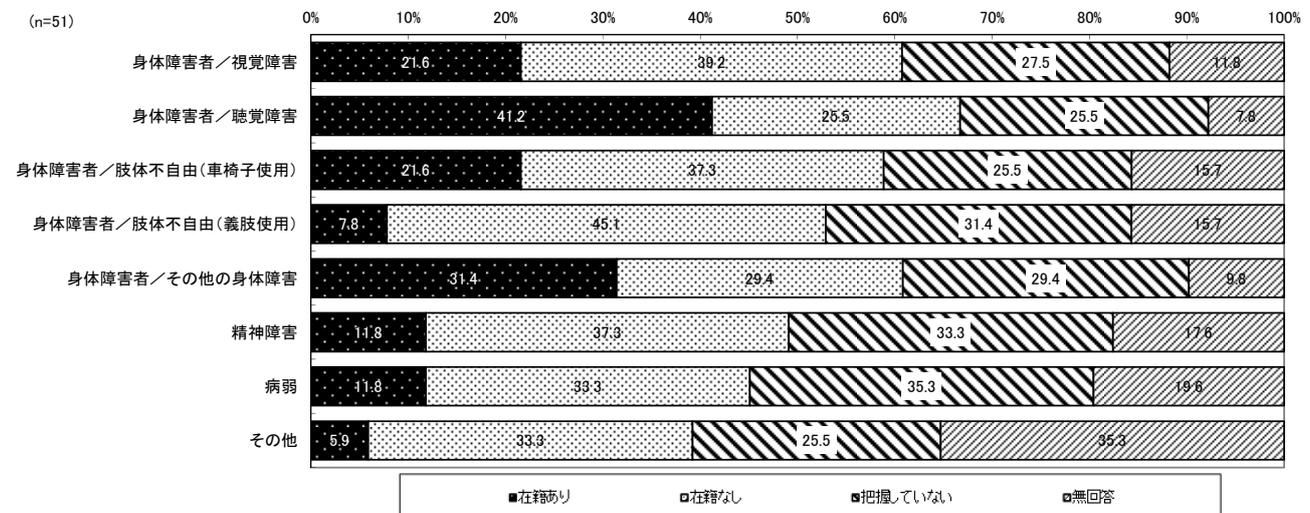
障害のある学生の在籍把握状況は以下のとおり。「聴覚障害」52.9%が最も多く、次いで「その他の障害」47.1%、「肢体不自由(車椅子使用)」37.3%と続き、多くの学部が障害のある学生を受け入れている状況が確認された。

一方、聴覚障害では「在籍あり」と「在籍なし」の合計が8割強に達し、多くの学部が聴覚障害者の在籍を把握しているのに対し、精神障害や病弱のそれは6割弱にとどまっている。また、卒業者を見ると「在籍あり」と「在籍なし」の合計が身体障害で6割、精神障害と病弱では4~5割にとどまっており、現状との比較では障害者の在籍把握が約1割上昇していることから、受け入れ体制の整備が進んでいると判断できる。

障害者の在籍状況



障害者の卒業(平成20~23年度)状況

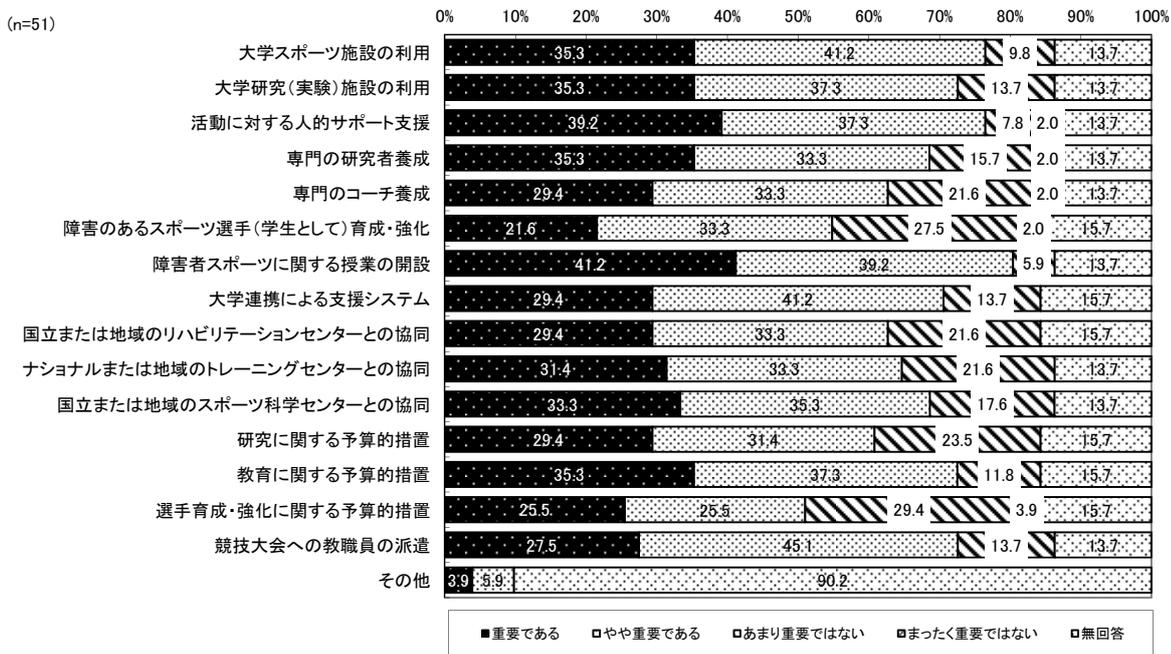


▼ 障害者スポーツ選手の競技力向上について

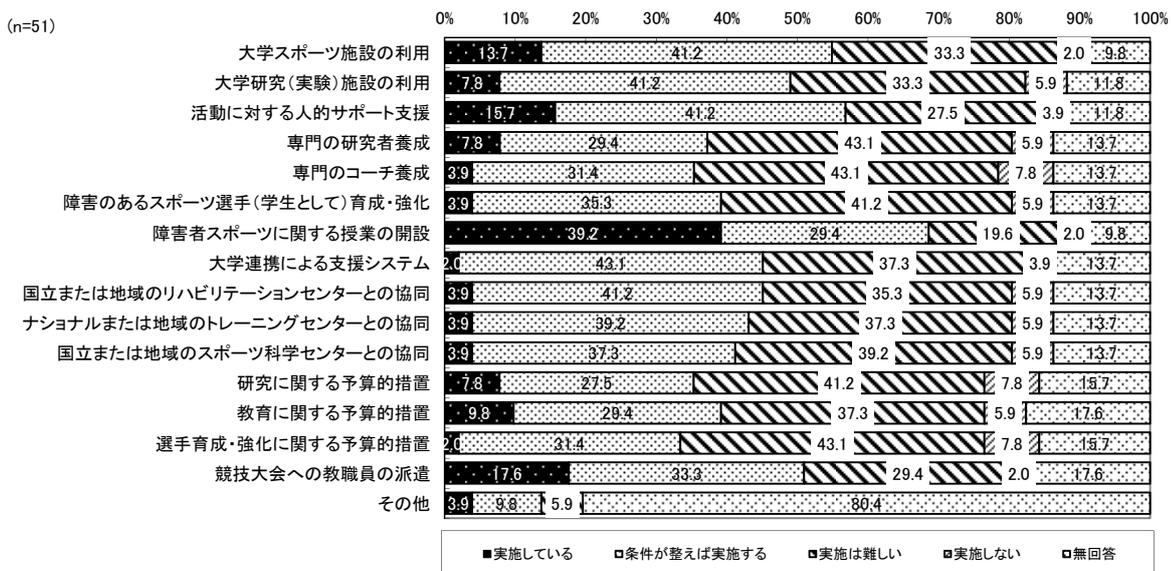
障害のあるスポーツ選手の競技力向上における大学の役割について、16項目を提示し、その重要度についての大学の意向を示している。その結果、重要度の高い項目は、「障害者スポーツに関する授業の開設」「活動に対する人的サポート支援」「大学スポーツ施設の利用」「教育に関する予算措置」「大学研究(実験)施設の利用」「競技大会への教職員の派遣」であった。

下図は、その実施状況を示している。実施率の高い項目は、「障害者スポーツに関する授業の開設」「競技大会への教職員の派遣」「活動に対する人的サポート支援」「大学スポーツ施設の利用」であった。

障害のあるスポーツ選手の競技力向上における大学の役割の重要度



今後の障害のあるスポーツ選手の競技力向上における大学の意向



その他の調査結果や詳細につきましては、当財団ウェブサイト(<http://www.ymfs.jp>)をご覧ください。